

3月から始まった春作業（耕起・播種・肥料散布・初期病害虫対策）も概ね予定通り完了しました。各作物の生育状況もまずまずの状況で推移しており協力頂きました作業員、水管理者の皆さんに感謝申し上げます。今回の「農産だより」では新たに取り組んでることや作業状況を報告します。

新たな助っ人登場！

おくたま農産では水稻の直播栽培に取り組んでいます。

播種後にはホバークラフトによる除草剤散布を行っておりますが、今までは「フロアブル剤」（液体）の散布でしたが、今回「**粒剤**」が散布できる**ホバークラフト**で一部散布を行いました。

＊フロアブル剤から粒剤になることで次のことが期待できます。

○薬剤経費の抑制

- ・粒剤の方が単価は安い。また、10kg 袋など大型規格になることでさらに購入単価が下がることが期待できる。

○薬剤容器処分が容易で自然に優しい

- ・フロアブルの場合、プラスチックビンに入っており産業廃棄物として処理するが、粒剤は紙袋のため処理費用が抑えられます。自然にも優しいです。

※ただし、双方にはメリット、デメリットありますので更なる効率化

- ・省力化に向けさらに研究して参ります。



大豆畝立て同時播種を試験（作業の省力化なるか）

6月7日より大豆（品種：リュウホウ、24.45ha）の播種作業を開始しました。大豆栽培は5月下旬から、肥料散布⇒耕起作業⇒播種作業後に中耕作業を2回行うこととしておりますが、梅雨時期と重なることから中耕作業が計画通りとならないのが悩みです。このことから、播種と畝立てを同時に行うことで中耕作業を1回減らせることで省力化並びに湿害対策効果などが期待できるため、今回農機メーカーの協力のもと試験を行いました。今後、試験の結果を見ながら次年度以降の大豆生産について検討して参ります。



＊中耕作業「土寄せ」とは畝間の土を耕し、土を柔らかくほぐし新鮮な空気や水分の透過性を良くすることで土壌微生物の活性が高まり肥料効果がアップ、根の発達にも効果があり収量アップも期待できます。

尚、大豆は湿害に弱いことから土を盛ることで湿害対策にも効果が発揮されます。

播種後の降雨による欠株が少なく湿害対策に効果か？⇒



ホールクロップサイレージ（WCS）用に

『つきはやか』を試験栽培

今まで転作作物としての飼料用米には「つぶゆたか」「たわわっこ」の多収品種の2品種を栽培しておりましたが、今年はホールクロップサイレージに取り組み『つきはやか』を試験栽培しております。飼料用米は玄米で出荷するのに対し、WCSは未熟玄米状態のまま刈取り・梱包し発酵粗飼料として畜産農家へ供給します。現況の生育は良好に推移しています。

＊「つきはやか」：イネ WCS 専用の早生品種です。早生品種なので晩成種と組合せることによって作業の分散化が期待できる品種です。

加工部だより

おくたま農産の味噌と麴、関東進出

「奥玉郷友会」の皆さんにふるさとの味届ける

6月23日、第42回奥玉郷友会定期総会・懇親会が東京都墨田区、『三州家』で一関市長、千厩支所長、奥玉振興会副会長、市民センター長の4名を含む34名の参加者のもと盛会裏に開催されました。



※おくたま農産の「みそ・麴」を購入したい方は農産事務所にご連絡下さい。

今年もふるさとの味「おくたま農産の味噌と麴」を参加者に提供し大変好評でした。

懇親会では、ふるさと奥玉や東京での活躍ぶりを語り合い、「南京玉すだれ」「おいとこ」「手品ショー」「三味線と民謡」やカラオケなど大盛り上がりだったようです。



※奥玉郷友会定期総会に出席した東京で活躍されている奥玉出身の皆さんです。親戚の方はいませんか？

三沢産「とうもろこし」まもなく出荷

7月8日三沢圃場内ハウスでJAによる「とうもろこし」出荷規格指導会が開催され、JA管内でとうもろこし栽培をする法人や個人が集まり、持参したとうもろこしの実を比べたり、お互いの圃場の生育状況を確認・検討しました。

今年の出荷は、7月中旬からJAへのお荷がはじまり、圃場での販売は下旬の予定です。

*圃場販売の案内はいつものようにチラシでお知らせします。



↑順調に生育しています。電牧により獣の被害もなし！

← 出荷規格を確認し、熱心に意見交換しました。

中山間直接支払制度事業・多面的機能支払制度事業からのお知らせ

7月8日より大型機械による管内農道2回目の草刈り作業が始まりました。

各地区におきましても、7月が2回目の圃場畦畔等の草刈り時期となりますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

*今年は適度に降雨となり草の生育が非常に良いようですので圃場管理の徹底をお願いします。尚、この事業での畦畔草刈り作業労務費支払いは3回分です。
※共同作業用としてリモコン草刈り機等が利用できます。申し込みは農家組合長を通じて事務局まで申し込み願います。

※作業中の事故には十分注意して下さい。万が一事故が発生しましたら各農家組合長・事務局までご連絡下さい。

*保険申請の場合は、事故の詳細を確認します。（写真あった方がよいです）



（編集後記）

おくたま農産の活動等をお知らせすべく今月も発行できましたお気づきかと思いますが、写真が多くなり、字が大きくなっています。

次号も両面印刷となるようがんばります。皆さんのご意見等ありましたら事務局までご連絡下さい。

○水稻生産部、ガズゴ（がまの穂）取りに奮闘中です！

（担当 菅原）



<発行人>

農事組合法人 おくたま農産

責任者 代表理事組合長 小野寺勝義

連絡先 0191-56-2301

E-mail okutama-nousan@alto.ocn.ne.jp

※農産だよりは今年から回覧方式で毎月発行としましたが、個別に欲しい方は事務所に置いてありますのでお寄り下さい。